

所属	人間社会学部・公共社会学科	職名	教授	氏名	文屋 俊子
----	---------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

東京都立大学大学院社会科学研究科博士課程満期退学。専門：都市社会学。

1993年に本学に着任。

<研究分野>

①地域における社会関係

研究分野である都市社会学、地域社会学は、地域に起きるさまざまな現象を科学的にとらえ分析することです。この過程を通じて、地域問題の解決に指針を与えることができたなら、という願いを込めて研究しています。

②イタリアの地域社会研究

地方の小さな街がどうやれば自立的に存在可能なのか、この点からイタリアの地域社会の事例に学ぶものが多いと思い、数年前から短期間の参与観察を続けています。

③筑豊地域の交通研究

ここ数年、筑豊地域の交通研究をしています。2004年に平成筑豊鉄道調査を行い、2007～2008年度の福岡県産炭地域振興センターの受託研究として筑豊地域の交通体系研究会を主宰していました。受託終了後も田川地域の地域交通ネットワークと地域社会の振興をテーマに継続して活動しています。

④研究分野とはいいいがたいですが、2004年以来、本学のFD部会に責任を果たしており、全国の大学FDの動向や考え方、授業改善の進め方等を学ぶ機会が多くあります。FDとは、学生にできるだけ良い大学教育を提供するための各段階での努力です。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

茂木豊、文屋俊子、三隅譲二、佐藤繁美。「地域生活の総合的満足度の意味及び生活の質に関する質問項目との関係」、福岡県立大学人間社会学部紀要、18(1),2009年。

福田恭介・文屋俊子・夏原和美・宮崎昭夫。「学生による比喩表現を用いた現実と理想の授業評価」福岡県立大学人間社会学部紀要 17 (2), 81-93. 2009年。

②その他最近の業績

学会発表：文屋俊子。「地方公共交通の活性化」西日本社会学会公開シンポジウム「公共社会学の構想」第二報告、報告者、2010年5月23日、福岡県立大学。

③過去の主要業績

文屋俊子、田代英美、福田忠昭、「筑豊地域の交通体系検討事業研究報告書」2009年3月。100頁。

文屋俊子「イタリア地方都市の地域社会と地縁組織(2)ーシエナ市民のアイデンティティー」『福岡県立大学紀要』14(1),77-86、2005年。

文屋俊子「団地の近所づきあい」森岡清志・松本康編『都市社会学のフロンティア 2 生活・関係・文化』121-151頁、日本評論社、1992年。

文屋俊子「大都市周辺地域の都市化」『社会学評論』148号、37-4、1987年。

3. 外部研究資金

なし

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本社会学会

日本都市社会学会
西日本社会学会
社会分析学会

6. 担当授業科目

(学部)

都市社会学・2単位・1年・前期、
地域社会学Ⅱ・2単位・2年・後期、
地域社会研究Ⅰ・1単位・2年・前期、
社会調査実習・2単位・3年・通年、
公共社会学研究Ⅰ・1単位・3年・前期、
卒業論文・10単位・4年・通年

地域社会学Ⅰ・2単位・1年・前期、
コミュニティ論・2単位・2年・後期、
地域社会研究Ⅱ・1単位・2年・後期、
データ分析の基礎・2単位・3年・前期、
公共社会学研究Ⅱ・1単位・3年・後期、

(大学院)

地域社会研究・2単位・1,2年・前期、地域社会演習・2単位・1,2年後期

7. 社会貢献活動

福岡県公益認定等審議会 委員 (平成20年12月～)

福岡県国土利用計画審議会 委員 (平成23年11月～)

財団法人飯塚研究開発機構 企画運営委員会 委員 (平成22年7月21日～24年7月20日)

田川市都市計画審議会 副委員長

田川市地域公共交通会議 副会長

田川市図書館運営協議会 委員 (平成22年4月1日～24年3月31日)

福智町男女共同参画審議会 委員長 (平成22年1月～平成24年1月)

受入環境調査検討部会 (山本作兵衛氏の炭坑の記録画並びに記録文書の保存・活用検討委員会) 委員 (平成23年11月～)

8. 学外講義・講演

平成22年10月22日 地域の「絆」再生にむけて、福岡市西区元岡校区ふれあいネットワーク推進協議会主催講演会

平成23年10月4日 公開講座：地域で公共交通を支える 福岡県立大学公開講座

9. 附属研究所の活動等